



にいがた命のつながりプラン

— 新潟市生物多様性地域計画 —

平成24年3月

新潟市

本プランのめざすもの

～つなげよう新潟の命 未来につなごう新潟の命～

田植えをむかえ、生きものが目覚める春
青葉が映え、あらゆる生命が躍動する夏
稲穂が輝き、山・海・里の幸を楽しむ秋
コハクチョウが潟や田んぼを行き交う冬

本市の四季のうつりかわりは、広大な田園や里潟、里山などの風景や、そこにくらすさまざまな生物の動きとして現れ、私たちはそれを当たり前のものでとらえてきました。しかし現在、私たちの生活や自然との関わり方が変化する中、気づかないうちに本市の美しい風景や自然の恵みの源となる生物多様性（命のつながり）が失われようとしています。

本プランでは、本市の田園や里潟、里山などを、ひとつにつなげた生物の生息・生育空間ととらえ、「つなげよう新潟の命 未来につなごう新潟の命」を合言葉に、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組んでいきます。

新潟市の目指すべき将来像

まちを包み込む多様な水と緑の自然環境に支えられ、
多くの命と共に生きる暮らしを創出

新潟市民歌 「砂浜で」

1 砂浜で
小さな小さな ぐみの木が
赤い赤い実をつけて
海に向かってささやいた
ふるさと新潟よいところ
朝の音 とどろ
海の音 とどろ



2 砂浜で
小さな小さなすずめさん
黒い黒い目をあげて
空に向かって鳴いていた
ふるさと新潟よいところ
白い雲 はしろ
大空を はしろ



3 砂浜で
小さな小さな友だちが
そっとそっと寄りそって
星に向かって語ってた
ふるさと新潟よいところ
船の灯 とろろ
沖の星 とろろ

昭和44年11月1日制定
作詞 富田 良子 補作 宮 柊二
作曲 田沢 弘子 補作 芥川 也寸志

はじめに



新潟市は、信濃川や阿賀野川の二大河川の河口部に位置し、ラムサール条約湿地である佐潟をはじめ鳥屋野潟、福島潟など多くの湖沼や都市部に隣接する里山、海岸保安林、新潟砂丘など優れた自然環境を有し、身近に自然空間を感じられる都市です。

さらに、本市の大きな特徴として、都市部を包み込むように全国1位の規模の水田が広がっており、その水田と水辺空間を求めて、冬にはハクチョウやオオヒシクイといった冬鳥が多く飛来し、私たちに潤いと安らぎを与えてくれるとともに、本市の冬の風物詩となっています。

このように人と生物が共存している光景は、当たり前のこととして見過ごされがちですが、未来にも引き継いでいきたい自慢できる本市の自然環境です。

一方で、本市でも市街地の拡大のための開発をはじめとして、海岸保安林のマツ枯れ被害や外来生物の拡大、地球温暖化による影響などにより、生物多様性の危機が表面化し始めています。

また、東日本大震災や新潟・福島豪雨など、近年起きている自然の猛威による大災害は、これまでの私たちのライフスタイルや人とのつながり、自然に対する価値観についても少なからず変化をもたらしています。

このような状況を踏まえながら、本市では生物多様性の保全と持続可能な自然利用に配慮した施策の方向性を示す新潟市生物多様性地域計画を策定しました。

本計画では、本市の田園や里潟、里山などを一体の生物生息・生育空間ととらえ、さまざまな生物の命は、それぞれが互いにつながって存在しており、この「命のつながり」とこれを保持することのできる環境を守り育てて、次の世代に引き継いでいくという思いをこめて、「にいがた命のつながりプラン」としました。

多くの命と共に生きることのできる自然環境を、市民の皆さまと一緒に喜びと感じ、汗をかき守り育てながら、すばらしい新潟の未来につなげていきましょう。

平成24年3月

新潟市長 篠田 昭

【目 次】

第1章 プランの策定にあたって

- 1 「生物多様性」とは…………… 1-1
 - (1) 生物多様性とは…………… 1-1
 - (2) 生物多様性の恩恵…………… 1-2
- 2 生物多様性を守るために…………… 1-3
- 3 プラン策定の目的と位置づけ…………… 1-5
- 4 プランの対象地域…………… 1-5

第2章 新潟市における生物多様性の現状と課題

- 1 新潟市の生物多様性の現状…………… 2-1
 - (1) 新潟市の地形…………… 2-1
 - (2) 自然環境の構成要素…………… 2-8
 - (3) 生物の生息・生育状況…………… 2-11
 - (4) 保全区域…………… 2-22
 - (5) 新潟市の生物多様性と人との関わりの変遷…………… 2-23
 - (6) 生物多様性の認識と価値観の変化…………… 2-36
- 2 新潟市の自然環境の特徴と課題…………… 2-38
 - (1) 新潟市の自然環境の特徴…………… 2-38
 - (2) 新潟市における生物多様性の危機…………… 2-43
 - (3) 生物多様性の危機の克服と
多様性のある自然環境の伸長に向けて…………… 2-47

第3章 目標と基本方針

- 1 基本的な原則…………… 3-1
- 2 基本的な方針…………… 3-1
 - (1) 在来の動植物の生息・生育環境の保全・再生…………… 3-1
 - (2) 自然環境の持続可能な利用の推進…………… 3-1
 - (3) 人材育成・協働の推進…………… 3-2
 - (4) 地球温暖化防止などの推進…………… 3-2
- 3 計画期間…………… 3-2
- 4 目標設定に向けた考え方…………… 3-2
- 5 新潟市の目指すべき将来像（長期目標）及び短期目標…………… 3-3
- 6 取り組み主体…………… 3-4
- 7 将来の新潟市のイメージ…………… 3-5

第4章 具体的な施策

- 1 施策項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-1
- 2 I 在来の動植物の生息・生育環境の保全・再生・・・・・・・・ 4-2
 - (1) 施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-2
 - (2) 施策の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-3
- 3 II 自然環境の持続可能な利用の推進・・・・・・・・ 4-31
 - (1) 施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-31
 - (2) 施策の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-31
- 4 III 人材育成・協働の推進・・・・・・・・ 4-39
 - (1) 施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-39
 - (2) 施策の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-39
- 5 IV 地球温暖化防止などの推進・・・・・・・・ 4-48
 - (1) 施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-48
 - (2) 施策の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ 4-48

第5章 シンボルプロジェクト

- 1 シンボルプロジェクトについて・・・・・・・・ 5-1
- 2 シンボルプロジェクトや新たな取り組みの展開に向けて・・・・・・・・ 5-3
- 3 にいがた命のつながりプロジェクト・・・・・・・・ 5-4
 - (1) 命にぎわう里潟ネットワークプロジェクト・・・・・・・・ 5-4
 - (2) 触れよう・学ぼう・受け継ごう！輝く里山プロジェクト・・・・・・・・ 5-8
 - (3) おいしい・たのしい生物多様性交流プロジェクト・・・・・・・・ 5-11
 - (4) 命を愛する人づくりプロジェクト・・・・・・・・ 5-13

第6章 推進体制と進行管理

- 1 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・ 6-1
 - (1) 各主体の協働によるプランの推進・・・・・・・・ 6-1
 - (2) 各主体の役割・・・・・・・・ 6-2
- 2 進行管理・・・・・・・・ 6-5
 - (1) 進捗状況の管理・公表・・・・・・・・ 6-5
 - (2) プランの見直し・・・・・・・・ 6-5

資料編